

# 松本市の景気動向

## — 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年12月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年12月1日～12月31日）

○調査期間：令和6年12月27日～令和7年1月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象のWeb景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業22企業、製造業28企業、卸売業22企業、小売業25企業  
飲食業17企業、サービス業53企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計167企業>

○調査項目：12月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## ○判断の基準

	好調	やや好調	横ばい	やや低調	低調
DI値	DI ≥ 20	20 > DI > 5	5 ≥ DI ≥ ▲5	▲5 > DI > ▲20	▲20 ≥ DI

## 1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)はやや低調  
前月(やや低調)から悪化(▲6.5→▲13.1)
- 全産業合計の水準DIはやや低調  
前月(やや低調)から悪化(▲9.4→▲14.3)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
業況DI	やや低調	横ばい	やや低調	横ばい	低調	低調
水準DI	やや低調	やや低調	やや低調	やや好調	やや低調	低調

	業況[前年同月比]					今月の水準				
	好転%	不変%	悪化%	DI	前月との差	良い%	普通%	悪い%	DI	前月との差
合計	16.2 (16.7)	54.5 (60.1)	29.3 (23.2)	▲13.1 (▲6.5)	▲6.6	15.0 (16.7)	55.7 (57.2)	29.3 (26.1)	▲14.3 (▲9.4)	▲4.9
建設業	18.2 (5.3)	50.0 (63.1)	31.8 (31.6)	▲13.6 (▲26.3)	12.7	13.6 (15.8)	54.6 (47.4)	31.8 (36.8)	▲18.2 (▲21.0)	2.8
製造業	21.4 (13.0)	57.2 (65.3)	21.4 (21.7)	0.0 (▲8.7)	8.7	21.4 (21.7)	50.0 (56.6)	28.6 (21.7)	▲7.2 (0.0)	▲7.2
卸売業	22.7 (42.9)	40.9 (28.5)	36.4 (28.6)	▲13.7 (14.3)	▲28.0	22.7 (35.7)	45.5 (35.7)	31.8 (28.6)	▲9.1 (7.1)	▲16.2
小売業	24.0 (27.3)	56.0 (59.1)	20.0 (13.6)	4.0 (13.7)	▲9.7	20.0 (18.2)	68.0 (59.1)	12.0 (22.7)	8.0 (▲4.5)	12.5
飲食業	5.9 (33.3)	52.9 (46.7)	41.2 (20.0)	▲35.3 (13.3)	▲48.6	17.6 (13.3)	53.0 (66.7)	29.4 (20.0)	▲11.8 (▲6.7)	▲5.1
サービス業	9.4 (4.4)	60.4 (71.2)	30.2 (24.4)	▲20.8 (▲20.0)	▲0.8	5.7 (8.9)	58.5 (64.4)	35.8 (26.7)	▲30.1 (▲17.8)	▲12.3

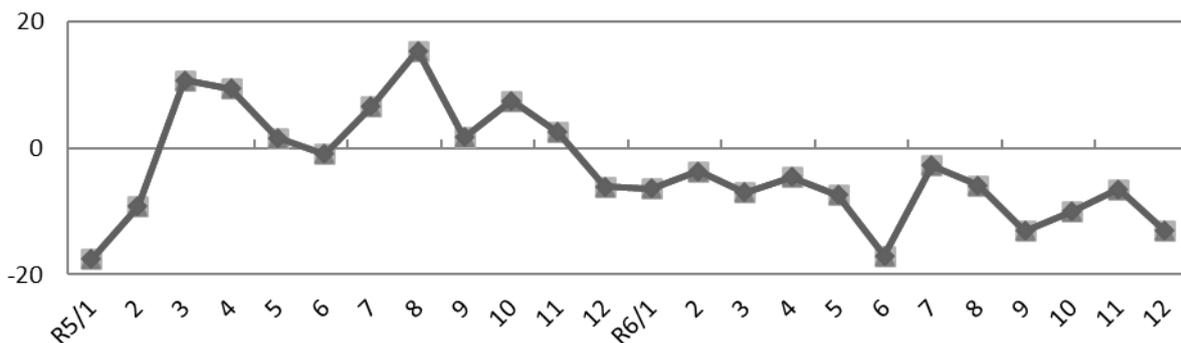
※緑色の部分が前年同月と比較し増加した業種となります。

( )内は前月データ

「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計

「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

### 業況判断DI (全産業・前年同月比)の推移



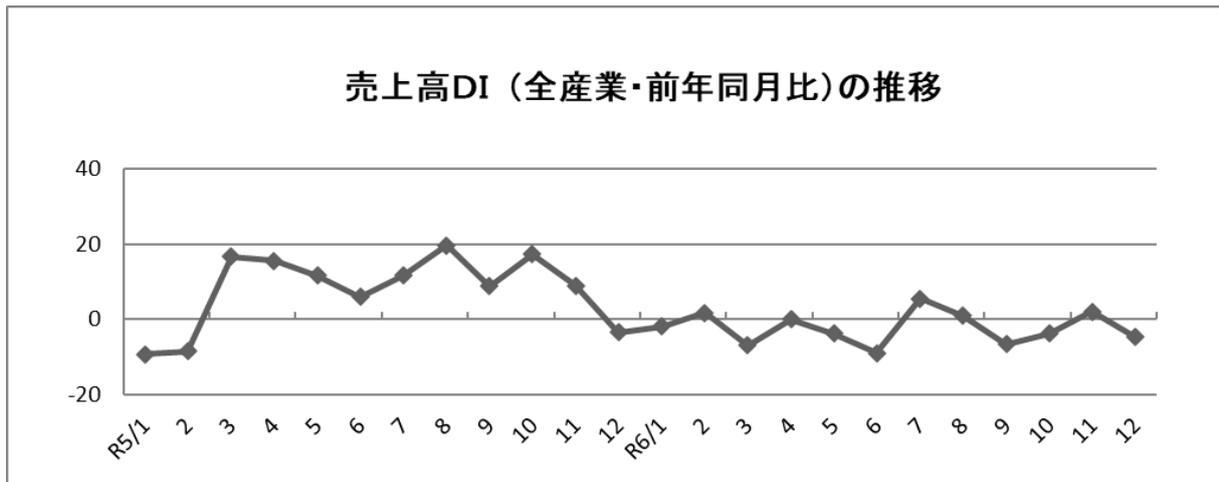
## 2. 売上高

- 全産業合計の売上高DIは、横ばい。  
前月(横ばい)から悪化(2.1→▲4.7)

業種ごとの売上高DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
やや低調	横ばい	やや低調	好調	やや低調	やや低調

【対前年同月比全産業合計売上高DIの推移】

R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7	▲8.9	5.5	1.0	▲6.5	▲3.7	2.1	▲4.7



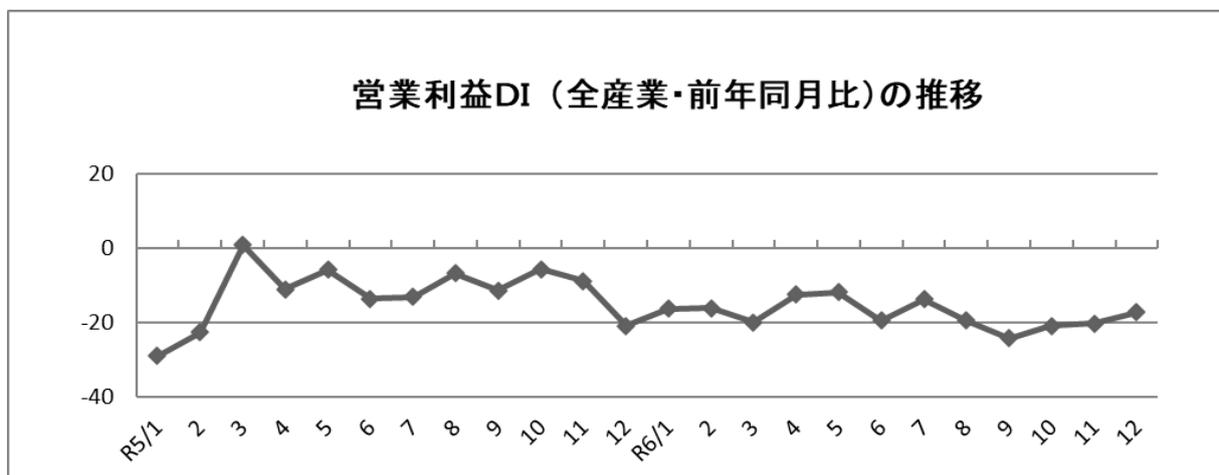
## 3. 営業利益

- 全産業合計の営業利益DIはやや低調。  
前月(低調)から好転(▲20.3→▲17.3)

業種ごとの営業利益DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	横ばい	やや低調	やや低調	低調	低調

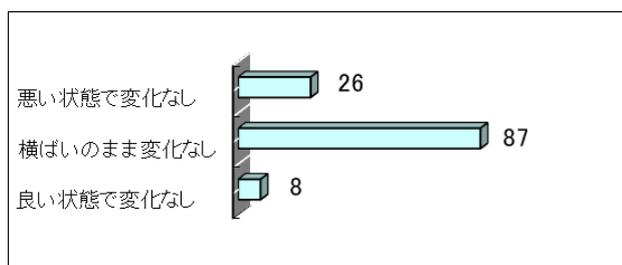
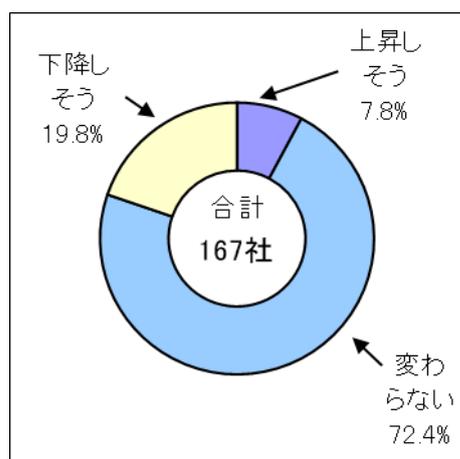
【対前年同月比全産業営業利益DIの推移】

R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9	▲19.6	▲13.9	▲19.6	▲24.3	▲21.0	▲20.3	▲17.3



◆ 『変わらない』の内訳 ◆

◇ 向こう3ヵ月の見通し ◇



令和7年1月～令和7年3月の見通しDIは、

「上昇しそう」が減り(8.7%→7.8%)、「下降しそう」は増えた(13.0%→19.8%)

業種ごとの見通し DI					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
横ばい	横ばい	低調	やや低調	やや低調	やや低調

今後3ヶ月の見通しに対する各業種のコメント

【建設業】

- 「上昇しそう」 11月補正の工事が発注されるため
- 「下降しそう」 建築物件が全国的に減少しているため

【製造業】

- 「上昇しそう」 航空宇宙関連の伸長が見込まれるため  
繁忙期による受注増加のため  
米価高による好影響のため
- 「下降しそう」 冬季は閑散期のため  
忙しい割に売上が少ないため  
供給不足のため  
年度末に向かい例年受注が低下するため

【卸売業】

- 「上昇しそう」 年間で一番販売額が大きい期であり顧客の発注量も増加しているため
- 「下降しそう」 野菜高騰により買い控えるお客様が多くなるため  
値上げの話が続いているため  
顧客から来年は厳しい年になると説明があったため  
1月以降の原材料値上げに対する前買いのかけ込みがかなり見られたため  
暖冬によるスタッドレスタイヤ販売不振のため

【小売業】

- 「上昇しそう」 近隣店舗の閉店など外部要因の影響があるため
- 「下降しそう」 観光客の減少や年末年始で使った分の買い控えが予想されるため  
冬の松本は観光客が減るため  
仕入価格の上昇による利益圧迫のため

**【飲食業】**

「上昇しそう」 宴会の予約が入っているため  
新年会が行われるため

「下降しそう」 例年1月過ぎはあまり期待できないため  
天候不順や災害増加による影響があるため  
寒さ、観光客の減少、インフルエンザ蔓延のため  
仕入値が上がっているため

**【サービス業】**

「上昇しそう」 3月は一年間で一番車検台数が多いため  
仕事が増えてきているため

「変わらない」 職業訓練応募者数の底打ち感はあるが本格的な上昇には至っていないため

「下降しそう」 観光シーズンが完全にオフになるため  
インフルエンザの流行で従業員の欠勤が増える可能性があるため  
イトーヨーカドー南松本店の閉店のため  
物価高のため  
取扱物量の減少と燃料等の仕入価格の上昇が継続しているため  
燃料費高騰のため  
人出が減少しているため

# 業種別景況

## 1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや低調	低調	横ばい	低調	横ばい
前月比 1.4増加	前月比 0.4増加	前月比 31.5増加	前月比 4.2増加	前月比 21.7増加

### 【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 25.0	▲ 38.8	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 27.7	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 9.1
受注量	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 30.0	▲ 27.7	▲ 25.0	▲ 41.2	▲ 27.7	▲ 42.9	▲ 36.8	▲ 36.4
受注単価	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲ 5.6	▲ 6.2	▲ 17.6	▲ 5.5	▲ 14.3	▲ 31.5	0.0
営業利益	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 43.8	▲ 41.2	▲ 33.3	▲ 35.8	▲ 31.5	▲ 27.3
見通し	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0	15.0	5.5	▲ 12.5	▲ 11.8	0.0	▲ 14.3	▲ 26.3	▲ 4.6

### <経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・非常に厳しい見通しである。
- ・諸要因の物価上昇により建築費が高騰しており、建築物件の中止、延期が散見され、同業大手の会社でも受注残が落ち込んでいる。ただ、6月過ぎに回復傾向に向かうとの話もある。

土木工事

- ・良い動きがない。
- ・首相の所信表明で、「令和の日本列島改造」と言ってるが、建設投資に結びつくのかが非常に気になる。
- ・過去最高の税収があるのにガソリントリガー条項はされず、能登の水道は断水のままで今後の政策が非常に気になる。

電気工事

- ・全国的に建設業の状況が良くないと耳にする。そして、最近では官、民ともに発注が減ってきていると言わざるを得ない。

塗装業

- ・人手不足で仕事が回らない状況である。受注量は増加している。

### (コメント)

- **地域特性と状況:** 地域全体で建築需要が減少しており、特に物価高による建築費の高騰が原因で受注中止や延期が多発している。補正予算による工事発注の増加が期待されているが、人手不足が深刻であり、受注機会の逸失も懸念される。
- **総括コメント:** 公共事業の発注を確実に取り込むために、効率的な労働環境の構築や受注対応力の向上が必要である。また、地元業者間の連携強化による支援体制の整備も重要である。

## 2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	横ばい	好調	横ばい	横ばい
前月比 3.6増加	前月比 8.7増加	前月比 17.1増加	前月比 18.2減少	前月比 22.8減少

【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5	▲5.9	5.0	▲22.2	38.9	▲18.7	▲13.4	10.5	0.0	3.6
受注量	0.0	0.0	0.0	▲31.6	▲23.5	▲5.0	▲11.1	27.8	▲25.0	0.0	▲15.7	▲8.7	0.0
受注単価	0.0	23.5	12.5	▲10.5	11.7	15.0	11.1	33.3	6.3	13.3	31.5	4.3	21.4
営業利益	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9	▲35.3	0.0	▲16.6	5.5	▲18.7	▲13.4	▲15.7	▲30.5	0.0
見通し	▲17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1	▲16.7	0.0	13.3	▲21.1	▲4.4	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

精密機器組立	・受注量、引き合いが回復傾向になってきたが、先行きは不透明である。トランプ大統領就任による国際的な動向が気になる。
小型情報機器組立	・現在のところは良いと思うが年度末がひとつの曲がり角だろうか。
金属塗装	・松本の大手製造業が吸収合併され事業が縮小される噂があり心配である。その後がどうなるか詳しく知りたい。
畳製造	・畳部屋の減少等で仕方のないことが多い。
農作物製造	・市内の企業が上場したと話題だが、企業として上がった要因はどのようなものだったのかが気になる。
農機具製造	・円安修正を願う。

### (コメント)

- **地域特性と状況:** 一部の業種では受注が増加しているが、冬季の閑散期や供給不足が業績を圧迫している。地場産業では、畳製造のように需要が減少している分野も見受けられる。円安や国際情勢の変動も輸出企業にとってリスクとなっている。
- **総括コメント:** 地域特有の伝統産業は、新たな用途や付加価値の創出が求められる。また、国際的なリスクに対応するため、製品ポートフォリオの多様化を進める必要がある。

### 3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
<b>やや低調</b>	<b>やや低調</b>	<b>やや低調</b>	<b>やや低調</b>	<b>低調</b>
前月比 35.1減少	前月比 6.4減少	前月比 30.5減少	前月比 18.2減少	前月比 22.8減少

【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7	▲15.4	▲6.7	▲38.5	23.1	0.0	▲7.7	9.1	21.4	▲13.7
販売客数	▲7.1	▲7.7	▲7.7	0.0	▲15.4	6.6	▲30.8	15.4	0.0	▲15.4	0.0	▲7.2	▲13.6
販売客単価	14.3	▲7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲7.7	15.4	▲10.0	▲15.4	▲9.1	21.4	▲9.1
営業利益	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7	▲7.7	0.0	▲46.2	▲15.4	▲40.0	▲46.1	9.1	0.0	▲18.2
見通し	▲7.2	▲23.1	0.0	▲7.7	15.4	0.0	▲30.8	▲23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	▲22.8

#### <経営者の目・見方・etc>

青果卸小売業	・大型スーパーへ行く方が増え、個人商店への来客が減っている。野菜の仕入値が高騰していて利益がない。
自転車	・自転車、タイヤ業界とも2025年の企業の休日が増えてきており人材確保が課題になってきている。業界の2025年商品展示会では人出が多く見られた。
土産品	・県内外とも年末年始の販売用に多くの発注があり好調である。為替の動きも気になるが、輸入業者としては円高ありがたい。
業務用食品	・各種感染症の影響を受け物流関係で忙しい状況があった。
金属製品	・建築はじめ、機材、産機でも先々案件が薄い状況である。加工賃も下げ傾向であり不安視している。メーカー及び流通も価格維持で踏ん張っている状況である。建築、建設機械、産業機械、工作機械など当面は低調な動きである。春先に期待したい。
包装資材	・海外への出店や輸出量、額、メーカーを通さない海外からの輸入量や額についてのデータがあれば知りたい。
電設資材	・松本市の建設関連の入札件数、落札価額等、公開情報があったら知りたい。
肥料飼料	・家畜の疾病による顧客の経営への影響。米、野菜の天候の影響による生産量及び価格の急激な変動が起きている。物価高の影響を受けコストが上昇してきている。
建設資材	・人口減少や将来の業界の再編成への対応についてどのように進んでいくのが気になる。

#### (コメント)

- **地域特性と状況:** 地元の個人商店の来客数が減少しており、燃料費や野菜価格の高騰が利益を圧迫している。一方で、年末年始の需要が売上を一時的に支えると期待されている。
- **総括コメント:** 個人商店と連携した販促キャンペーンの実施や、地域住民向けサービスの強化が必要である。また、物流の効率化とコスト削減に取り組むことが求められる。

## 4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
<b>好調</b>	<b>やや低調</b>	<b>横ばい</b>	<b>やや低調</b>	<b>やや低調</b>
前月比 1.8増加	前月比 16.0減少	前月比 4.6減少	前月比 10.2増加	前月比 1.7増加

### 【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲ 16.0	18.8	▲ 6.2	6.6	5.0	▲ 21.0	18.2	20.0
販売客数	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲ 16.0	6.2	▲ 18.7	▲ 6.6	▲ 15.0	▲ 42.1	0.0	▲ 16.0
販売客単価	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0	▲ 12.0	12.5	▲ 6.2	▲ 6.6	10.0	▲ 10.5	4.6	0.0
営業利益	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7	▲ 24.0	0.0	▲ 31.2	0.0	▲ 25.0	▲ 36.8	▲ 18.2	▲ 8.0
見通し	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 26.3	▲ 13.7	▲ 12.0

### <経営者の目・見方・etc>

燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕入価格の変動が顕著であり影響をかなり受けている。国からの補助金等があると非常にありがたい。</li> <li>市内各所で百貨店やデパート等が相次いで閉店する。今後の松本市内の動向について非常に気がかりである。</li> </ul>
印章	<ul style="list-style-type: none"> <li>年賀状印刷の注文が年々減り、年賀状じまいと喪中はがきの印刷が増えている。2024年の後半はほぼ毎月前年度比で減収になってきた。松本城には年間約20万人の外国人が来ているらしい。彼らをお客にする手段を構築したい。</li> </ul>
洋菓子店	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマス商戦では昨年と同じで横ばいであったが今後が心配である。チョコレート関係の材料がまだまだ上がるので、チョコレート系の菓子をどう作るか問題である。</li> </ul>
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>年末は毎年ながら大変忙しかった。集中したが一カ月通せば昨年と変わらなかった。</li> </ul>
郵便局	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の高齢化によるお客様の減少により売上減となっている。今後事業継続について悩む。</li> </ul>
建築資材	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本市にて行っている公共事業の今後の動向についてどのようになっていくのだろうか。</li> </ul>

### (コメント)

- **地域特性と状況:** 松本市では観光需要の減少が影響を与えており、地域住民の高齢化も売上低迷の要因となっている。百貨店の閉店など地域経済の変化が課題となっている。
- **総括コメント:** 地域住民、とりわけ高齢者に対応した商品・サービスの展開が必要である。また、観光に依存しない収益モデルの構築が求められる。

## 5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
<b>やや低調</b>	<b>低調</b>	<b>横ばい</b>	<b>低調</b>	<b>やや低調</b>
前月比 32.6減少	前月比 36.8減少	前月比 6.7減少	前月比 10.2減少	前月比 50.9減少

【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	45.4	0.0	7.7	26.7	▲ 5.9
販売客数	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2	16.7	25.0	45.4	▲ 11.1	7.7	13.3	▲ 23.5
販売客単価	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6	16.7	18.2	22.2	7.7	6.7	0.0
営業利益	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 8.3	▲ 8.4	0.0	▲ 22.2	▲ 53.8	▲ 13.3	▲ 23.5
見通し	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0	16.7	9.1	11.1	0.0	33.3	▲ 17.6

### <経営者の目・見方・etc>

冷凍生そば販売業

食堂

寿司

中華料理

- ・少しずつではあるが注文があった。
- ・気温が下がり人出は減り、薬物野菜等の値上がりが続き、忘年会の予約数は少なく、この状態で新年を迎えるのが不安だ。
- ・宴会の予約はあまりなかったが、11月から予約が入りだした。年度末は毎週予約が入りそうだ。
- ・薬物野菜の高騰がかなり頭を悩ませている。特にキャベツの値上がりが異常なほどである。
- ・12月に限っては客数、客単価とも伸びて完全にコロナ禍前に戻ってきたように思う。しかし、それ以上に原材料、経費の値上がりがひどく、販売価格の見直しを考えなければならない。
- ・老舗ラーメン店がまた一つ閉店してしまった。寂しい限りである。

### (コメント)

- **地域特性と状況:** 新年会や宴会予約の回復が見込まれるが、寒さやインフルエンザ流行、観光客の減少が業績の不安要因となっている。加えて、野菜価格の高騰が利益を圧迫している。
- **総括コメント:** 地元客を中心にリピーターを増やす施策や、原材料コストを抑えた効率的なメニュー構成が求められる。また、地域食材を活用した差別化も有効である。

## 6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
<b>やや低調</b>	<b>やや低調</b>	<b>横ばい</b>	<b>低調</b>	<b>やや低調</b>
前月比 1.8減少	前月比 3.7減少	前月比 2.3減少	前月比 4.6減少	前月比 10.6減少

【項目別DIの推移】

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲12.1	▲3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲2.9	▲3.0	9.1	0.0	0.0	▲13.3	▲15.1
販売客数	▲18.1	▲3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0	▲6.0	▲3.0	▲6.3	▲2.9	▲13.3	▲17.0
販売客単価	▲3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7	24.3	21.2	3.1	14.7	2.3	0.0
営業利益	▲12.1	▲12.5	▲9.1	6.3	▲5.9	5.3	▲8.6	▲3.0	▲18.2	▲15.6	▲5.9	▲20.0	▲24.6
見通し	▲6.1	▲6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5	9.1	0.0	6.3	▲8.9	▲4.5	▲15.1

### <経営者の目・見方・etc>

旅館	・12月中旬以降ドカ雪はないが、連日5～10cmと降雪がある。また、日中も気温が上がらず真冬が続く客足は落ちた。
温泉旅館	・原材料高騰やエネルギー高騰には客単価を上げて対応している。目下の問題は人手不足である。
リラクゼーション	・感染症の流行が気がかりである。
ホームクリーニング・リネン	・地方におけるリネン不足が目立ち始めている。
サプライ業	
宿泊	・スキー場オープンが危ぶまれていた時点で例年の常連客が大量に高山のスキー場の宿泊施設に移動したため、オープンが決まった時点では予約がなかった。その時点からの予約は大きくは望めない。
ホテル	・11月までのインバウンドの増加は若干落ち着いた。客単価の上昇も少し落ち着いてきた。
機械設計	・仕事のテーマが少ない。年度末までは続く。来期に期待したい。
美容院	・美容業の状況は全体的に物価高等の影響があるため、来店Spanが長くなり売上減少となっている。どう対応するか悩んでいる。
歯科技工	・仕入れ値が上がっていて単価を上げないと追いつかない状態を、取引先が納得してくれたので何とかやりくりしている。
美容業	・お客様も高齢化し、また、物価高の影響もあり来店する人数も少なくなっている。当店は令和元年から料金は上げていない。
スクール運営	・値上がりが気になる。ガソリン、資材、仕入、郵便料金等の高騰は経営を圧迫している。
布団の貸し出し	・常連客より布団の処理を頼まれる。本来はやってはいないが仕事を受けるにはやむを得ない。年末年始が過ぎると落ち着く。
不動産	・業界ごとの傾向調査が気になる。
宿泊業	・インバウンドの実態に関するデータや消費額や滞在目的などが知りたい。
運送業	・暫定税率の廃止や減税について知りたい。
振興組合	・インバウンドの入込状況について知りたい。

## (コメント)

- **地域特性と状況:** 冬季の観光オフシーズンにより、観光関連業種を中心に客足が減少している。燃料費高騰や人手不足が経営を圧迫しており、スキー場需要の減少も見られる。
- **総括コメント:** 観光業以外の収益源を確保するため、新たなサービスの導入や地元企業との連携を進めるべきである。労働環境を整備し、人材確保を図ることも重要である。

## (総括コメント)

松本市を中心とする地域では、観光需要の季節的変動や地域住民の高齢化が経済に大きな影響を与えている。また、燃料費や物価高騰が各業種で共通の課題となっている。

## 7. 任意調査

(調査目的)

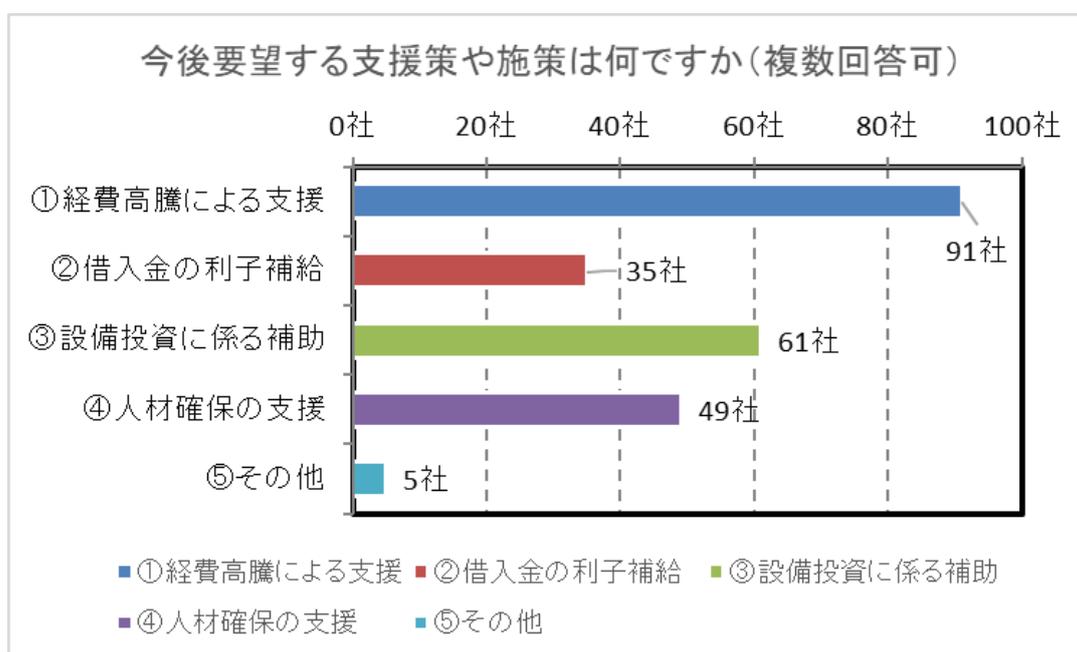
物価高騰や人員不足など、松本市内の企業を取り巻く環境は厳しい状況です。

今後、行政機関や支援機関が行う経済対策について、どのような要望があるか参考にするための調査となります。

問. 原材料の高騰、人員不足、賃金の引上げ、光熱費の高騰など、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。今後の経済対策としてどのような支援を要望しますか。(複数回答可)

- ① 経費高騰による支援 ② 借入金の利子補給 ③ 設備投資に係る補助  
④ 人材確保の支援⑤ その他( )

(回答数 167 社・複数回答)



(その他の内容)

- ・DX への対応、改正法令の解説
- ・今後の経営について、営業内容を大きく転換したい。宿泊施設にこだわらない。
- ・税務指導
- ・工場立地法、緑地面積の規制緩和
- ・社員教育

